

平成28年度県立真岡工業高等学校における学校評価実施報告

1 自己評価について

(1) 本年度の重点目標

八幡が丘ウェイ「生徒の可能性を信じ、手間と時間を惜しまない」

ア 「つもり」学習をやめさせ、「気づかせる」学習を図る

イ 創造型実践技術者の育成を図る

ウ 自らの専門性向上を図る

エ 教職員がお互いに支えあい、明るい職場環境づくり

(2) 評価項目

- ・ 本年度の重点目標を受けて、各部・科・学年において設定した。

(3) 評価の観点、評価基準等

- ・ 評価項目を設定した部・科・学年において設定した。

(4) 評価実施時期及び実施方法

- ・ 年度末、検定試験等については結果が出次第、設定した基準に従って評価した。

(5) 評価結果

- ・ 全40項目中、評価Aが22項目、Bが9項目（AとBとで全体の約79.5%）

(6) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

ア P T A 学年部会、P T A 理事会等において、保護者アンケート及び生徒生活アンケートの結果に基づく内容を保護者に公表した。

イ 学校評価全体の概要を、年度末に本校ホームページ上で公開した。

(7) 実施により改善されたこと

ア 各種資格試験合格率、生徒理解に立った教科指導、遅刻数の減少、職試験一次合格率等で、成果が見られた。

イ 教員の意識向上に役立った等の実感が得られた。

(8) 評価結果に基づく今後の改善方策等

ア 良好な評価であった項目については、現在の状態からさらに向上させていけるよう、評価基準を見直す。

イ 資格試験等の合格率の結果が良好でなくても、それまでの指導方法や内容で評価していきたい。

2 学校関係者評価について

(1) 評価組織（評価者）

- ・ 学校評議員会を活用した。

(2) 評価実施時期および実施方法

ア 第1回学校評議員会[平成28年10月29日（土）]

- ・ 学校公開時に開催予定であったが、学校公開中止にともない資料を郵送し、意見をいただく流れになった。

※ 郵送資料（平成28年度学校評価計画・自己評価計画、保護者アンケート及び生徒生活アンケート、学校要覧、学校案内等）

イ 第2回学校評議員会[平成29年1月26日（木）]

- ・ 自己評価の結果を報告し、ご意見をいただく。
- ・ 各科活動の状況および各部（進路・学習・特活指導部）の年間状況等を報告し、意見をいただく。

(3) 評価結果の公表時期および公表の方法等

- ・ 年度末に学校評価における自己評価をまとめ、ホームページや平成29年度のPTA総会等において公表する。

(4) 評価結果

ア 評議員の方々から、以下のような意見をいただいた。

- ・ 職場において、外国人が増えており従業員が多様化してきているので、今まで以上にいろいろな意味での「気づき」が大切である。真岡工業高校で「気づき」を重視した指導を行っていることはとても良いことだと思う。
- ・ 部活動等で成功体験を積むことは、その後働いていく上で非常に良いことである。
- ・ インターンシップのフィードバックを充実させてもらえれば、インターンシップそのものをさらに発展させられると思う。
- ・ 社会に出れば競争が当たり前なので、競争するという感覚をもっと高校生に身につけさせるべきではないか。
- ・ 真岡工業生をもっと公務員(役所など)に入れてほしい。
- ・ 工業高校において高校生ができること(特許やアイデアなど)がもっとないだろうか？
- ・ 生徒たちの就職先を見ると、県内を代表するような企業ばかりで驚いた。
- ・ 真岡工業の生徒は挨拶がよくできる生徒が多く、素晴らしいと思う。

(5) 評価結果に基づく今後の改善方法等

ア 今後とも、資格取得をはじめ、技能検定の受験や各種ものづくりコンテストへの積極的な参加を奨励する。また、事前指導などを通じ生徒への支援を十分に行う。

イ 自己評価の方法や基準、目標設定の内容等を再検討していく。

ウ アンケートの実施時期や評価の時期を検討していく。

3 学校の情報提供について(学校評価に係る取組を除く)

(1) 提供内容

- ・ 学校行事予定
- ・ 生徒特別活動実績
- ・ 職員紹介
- ・ PTA活動概要
- ・ 保健室利用状況
- ・ 各科学習内容、活動内容

(2) 提供方法

- ・ 真工高ホームページ
- ・ 中学校訪問(学校紹介)時の資料
- ・ クラス便り
- ・ PTA便り